

つたわる、つながる情報誌

# 広報 さがら

Jan 2026  
vol.546

1

## お出かけ知事室 ～ともに未来を語る会～ in 相良村



# お出かけ知事室 ～ともに未来を語る会～が開催

11月28日(金)、相良村総合体育館研修室においてお出かけ知事室～ともに未来を語る会～in相良村が開催され吉松啓一村長や永田博人村議会議長、地域住民、村や県の関係者などおよそ50人が出席しました。

お出かけ知事室は、木村敬熊本県知事が県内の全市町村を回り、県民の意見や提案を直接聴くことで県の施策へつなげることを目的に開催されています。今回は事前に申込みをされた13人が、教育施策や農業振興策、農地基盤整備事業などについての質問や意見を述べました。それぞれの意見や質問に木村知事は一つ一つ丁寧に答えられていました。



緊張の面持ちで質問する中学生



自作の地図で説明を行う参加者



参加者の中学生・高校生と木村知事

## 相良村総合教育会議が開催されました

11月7日(金)、総合体育館ミーティング室で、村長や教育長、教育委員が出席し、相良村総合教育会議が開催されました。相良村学校適正規模等検討委員会からの提言を受け、学校再編について協議されました。

会議の結果、村内の小中学校3校を令和9年3月で閉校し、令和9年4月から施設分離型の義務教育学校を開校するという基本方針が示されました。

今後、議会や保護者、村民の皆様への説明会を開催することにしています。



## ～勤労感謝の日～

村内の保育園から役場に手作りのプレゼントが贈られました。



暁保育園



なつめ保育園

## (株)技建日本から寄附をいただきました

株式会社技建日本(代表取締役:堀川匠太氏)から村へ、村の活性化を目的に100万円の寄附金をいただきました。

今回の寄附は、四浦地区交流拠点施設整備事業に活用予定です。

寄附いただきありがとうございました。



堀川代表取締役へ感謝状の贈呈

## 「税に関する作品」の表彰

11月11日から11月17日までの1週間は、毎年「税を考える週間」です。

12月3日(水)、相良南小学校で、税に関する作品の表彰が行われました。

小学校の「税の習字」部門で、3年生の宮原慧さん(朝迫)が相良村長賞を受賞しました。

受賞の際には、「緊張したけど、賞を貰えて嬉しい」と感想を述べました。



宮原慧さんが書いた作品



賞状を手にする宮原さん

## 目次

- 2 株式会社技建日本から寄附税に関する作品の表彰
- 3 お出かけ知事室  
相良村総合教育会議を開催  
勤労感謝の日
- 4 新年のご挨拶
- 6 むらの話題  
フレイル予防教室が行われました
- 8 民生委員・児童委員が改選
- 9 避難地の利用について  
相良村職員採用試験のおしらせ
- 10 おしらせ
- 12 村職員人事異動・新規採用職員紹介
- 13 行事予定表・小児科在宅当番医・香典返し
- 14 2025年9大ニュース

## 今月の表紙



今月の表紙は、お出かけ知事室～ともに未来を語る会～in相良村での一枚です。相良村の未来のため活発な意見が交わされました。詳しくは3ページをご覧ください。

## 今月のちょっとした話題



川辺永江地区なつめ保育園跡地のイチョウがとても鮮やかに黄葉していました。イチョウの中には千年以上生きるものもありイチョウの花言葉「長寿」の由来になっているそうです。

謹んで新年のお慶びを申し上げます



春や秋が短く四季を感じる事ができないような一年でしたが、このような気象状況が常態化していく中、生涯現役、一病息災と申しますように自分に合った健康維持管理に努められておられることがあります。村では、健康管理の観点から健診受診機会の充実、また、すべての世代が安心して暮らすことのできる村を目指し介護や子ども子育てを含む福祉全般の充実を図りつつ心かようむらづくりに向けて日々努力しているところでございます。

さて、令和2年7月豪雨災害から丸5年が過ぎました。復旧に関しましては、新村橋を始め、林道の一部を除いた復旧工事は竣工しております。復旧から復興へと進める中で、道路では、平原十島線の十島側の完了と引き続き平原側などの改良、国道445号の改良に

については、バイパス工事や歩道設置、離合箇所の増設。農林業関係では、高原、棚畠瀬、井沢、新並木等の石綿管改修工事や基盤整備、四浦基幹林道の新設工事。商工観光では、水質日本一19年連続の清流川辺川を活性化した魅力創造事業。教育関係では、デジタル化や給食費の無償化、中学生の通学用自転車購入補助等に加えて中学卒業生に対する5万円の助成、新入生の制服と小学校新入生への体操着の補助を含め、少子化の中につき、義務教育の充実に向けての取り組みも含め安心安全な教育環境等を図ります。また、防災、減災面では、川辺川の河川掘削や遊水地等の整備、堤防の嵩上げ改修等を図り、加えて、永江、前田、平原、新村、十島地区の災害時避難地整備も竣工した所、整備中の所と加えて避難路の整備も進めます。

また、高台移転対策と移住定住を目的とした宅地造成整備地は17区画完売し、そこから、保育園、小学校にと通学されておられます。移住定住の促進は、村の活性化につながりますので、今後も民賃アパートの誘致等を含めて移住定住施策を計画していきます。

これらは、議会のご同意と村民の皆様方のご協力の賜と思っております。このようなか、本年は災害のない年でありますよう祈りつつ、安全で安心して暮らせるよう「未来につなげるむらづくり」のために皆様方と共に全力で相良村の振興に努めてまいりますので、今後ともご支援、ご協力をよろしくお願ひします。

村民の皆様方のご幸福を願い新年のご挨拶とさせて頂きます。



新年あけましておめでとうござります

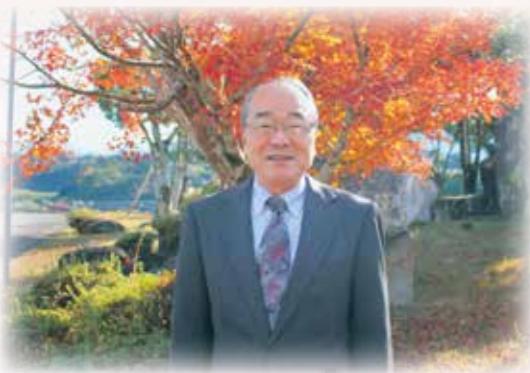
新春を迎へ、村民の皆様方に謹んで新年のお慶びを申し上げますとともに、平素から本村教育にお寄せいただいております温かい御支援、御協力に対しまして、心から感謝申し上げます。

います。言葉を換えれば大きなチャンスを迎えているのではないかと思います。教育長室には相良村の児童生徒一人ひとりの写真を掲示しておりますが、一人ひとりの子どもたちが目の前にいる気持ちで

そのことに関連しまして、  
①令和6年12月の議会では、  
小学校を再編し、将来的には  
義務教育学校を目指すこと、  
また校舎の老朽化に伴い建て  
替えなどを考慮する必要があ  
ることを答弁しております。

村総合教育会議（村長、教育長、教育委員で構成）を開催し、提言書を受けて今後の基本方針を審議し、基本方針を決定いたしました。議会及び保育園・小学校・中学校の保護者の方々にも説明し、村民の皆

的な視野に立って」だと思い  
ます。



中村和弘

現在、人口減少、少子高齢化、グローバル化の進展など、社会の変化が加速度を増し、将来の予測が困難な時代を迎えて います。25 年後の 2050 年には相良村の人口が 1887 人、児童生徒数が 100 人に満たないと推測されます。このような急激に変化する時代の中で、学校教育には、子どもたち一人ひとりが、自分の良さや可能性を認識するとともに、多様な人々と協働しながら、様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓いていく力を育成することが求められています。

さて、「二年の計は田を耕すにあり、十年の計は木を植えるにあり、百年の計は人を養うにあり」という言葉がござります。今、相良村の教育は大きな転換期にさしかかって

教育行政に努めているところです。

②令和7年6月の村議会において、相良村学校適正規模等検討委員会（学校及び保護者、保育園関係者、学校運営協議会代表、地域代表で組織）の設置が承認されましたので、人口減少に伴う学校の小規模化の進行等に対応するため、学校適正規模等について、全村的な視点から検討いただきました。

③令和7年9月の議会では、現在相良村学校適正規模等検討委員会で全村的な視野に立つて検討していただきているところであると答弁いたしました。

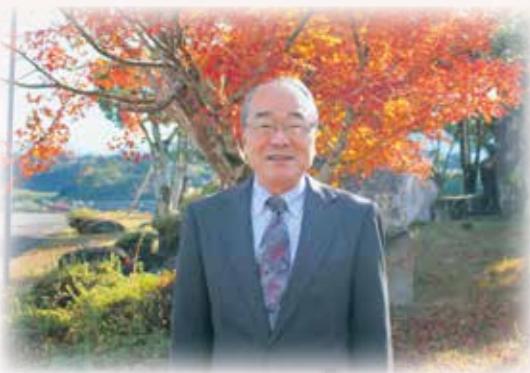
④令和7年10月20日には、広報「さがら」にもありましたように、相良村学校適正規模等検討委員会から提言書を受け取りました。

⑤令和7年11月7日に、相良

様にも丁寧に説明してまいりたいと考えております。

全国的に公立学校の小学校数、中学校数は減少しておりますが、義務教育学校は増加しています。義務教育学校の導入により、小学校の教科担任制が更に推進されると思います。このことにより、小学校と中学校間の段差が緩和され、小学校教育から中学校教育への円滑な移行を促すことが可能となり、中1の壁や小中ギャップと呼ばれる不登校等の問題が緩和・解消する効果が期待されているところであります。また、義務教育9年間を見通して児童生徒に必要な資質・能力を育て、児童生徒の「生きる力」を育む教育の充実を図ることができるようになります。キーワードは相良村の連帯感を更に強める「全村

A portrait of Nakamura Kazuhiro, the Director of Education of Suganuma Village. He is a middle-aged man with glasses, wearing a dark suit, white shirt, and patterned tie. He is standing in front of a vibrant red and orange maple tree, with a scenic landscape of hills and fields visible in the background.



中村和弘

生を切り拓いていく力を育成することが求められています。さて、「一年の計は田を耕すにあり、十年の計は木を植えるにあり、百年の計は人を養うにあり」という言葉がござります。今、相良村の教育は大きな転換期にさしかかって会においてお話ししてまいりましたが、相良村教育委員会でも直面している様々な課題がありますが、将来を見据えた学校再編等については、とても大きな喫緊の課題として捉えております。

るところであると答弁いたしました。

④令和7年10月20日には、広報「さがら」にもありましたように、相良村学校適正規模等検討委員会から提言書を受け取りました。

⑤令和7年11月7日に、相良

果が期待されているところです。また、義務教育9年間を見通して児童生徒に必要な資質・能力を育て、児童生徒の「生きる力」を育む教育の充実を図ることができます。キーワードは相良村の連帯感を更に強める「全村

A portrait of Dr. Kiyoshi Kuroda, a man with glasses and a white shirt, standing in front of a large tree with red leaves and a scenic landscape.

12/ 5  
(金) 地域住民との交流を  
四浦地区でキムチ作り教室開催



キムチの作り方を熱心に聞く参加者

今年度相良村は九州移住ドラフト会議に「SAGA RAエメラルドグリーンズ」としてエントリーしており、11月に行われた指名会議にて、富崎一真さん、塚原奈緒さん、丹羽海友さんの3人の選手を獲得しました。指名会議後、早速村を訪れた3人は村内の観光地や交流拠点施設整備予定地などを散策。今回は、韓国料理屋を営む丹羽さんの経験を活かし、四浦地区でキムチ作りを計画。当日は、吉松利則さん(上川上)に白菜などの野菜を提供いただき、丹羽さんの指導で地元の方々と一緒にキムチ作りを実施しました。3人は今後も定期的に相良村を訪れ活動する予定です。

\*移住ドラフト会議とは、移住者を受け入れたい地域が「球団」、九州への移住希望者は「選手」としてスカウトするイベントで、球団と選手は地域の担い手作りやPR、課題解決などを目的に一緒に活動していきます。

11/28  
(金) 生命の尊さを  
南小「人権の花」運動終了式



感謝状を受け取る児童ら

くまもと県南人権啓発活動地域ネットワーク協議会が取り組む「人権の花」運動の終了式が相良南小学校で行われ、今年の5月から運動に取り組んだ南小に対して相良村から感謝状が贈呈されました。また、この運動で児童が育てた、千日紅、ヒマワリ、マリーゴールドの花の種を熊本地方法務局人吉支局及び人吉人権擁護委員会に伝達しました。この花の種は、来年度「人権の花」運動を実施する人吉市立中原小学校に引き継がれます。

最後に児童を代表して6年生の豊永涼さん(平原)、原口莉緒さん(並木野)、立見倅平さん(上園)の3人が「人権の花の取組を通じて、命の大切さや思いやりの心について学ぶことができた。みんなで協力して花を育てる中で、友達の意見を聞くことや助け合うことの大切さに気づきました」と取組の感想を述べました。

11/25  
(火) 新たな教育環境の在り方を検討  
水上学園を視察

意見交換では義務教育学校の  
メリットなどについて話された

相良村学校適正規模等検討委員会委員が義務教育学校である水上学園を視察し、橋爪校長から説明を受けました。

水上学園は、令和5年4月に施設分離型で開校し、令和6年4月に施設一体型の校舎になり、現在、1年生から9年生までの135人の児童生徒が前期課程と後期課程に分かれて学んでいます。

説明後、教室等の見学、意見交換が行われました。義務教育学校のメリットとしては、中1ギャップがなくなり、不登校等の問題が緩和・解消の効果が期待できること。中学校の先生が小学校の授業に入ることができ、専門性の高い授業を受けることができる。その他、特別の教育課程を編成することができることなどを伺いました。

11/10  
(月) 火災ゼロを目指して  
村秋季防火パレード



出発前に整列する団員ら

秋季全国火災予防運動の一環として相良村消防団による防火パレードが行われました。午後6時に役場前に団長をはじめとし、第1分団から第8分団の分団長・副分団長と女性消防隊が集合しました。

分団長たちは各地域を積載車で回り、村内の火災予防の啓発を行いました。また、11月26日(水)に相良村総合運動公園グラウンドにて、規律訓練を行い、消防力を高めました。



パレードに出発する積載車

12/ 7  
(日) 第 26 回球磨人吉消防ラッパ吹奏競技大会



団体の部で演奏する相良村消防団ラッパ隊

あさぎり町須恵文化ホールで、第 26 回球磨人吉消防ラッパ吹奏競技大会が開催され、8町村からおよそ71人が出場し、相良村からは9人が出場しました。

相良村は、消防の曲を吹奏する団体の部と個人の部に出場し、個人の部にラッパ長の岡村俊佑さん(下四浦)が出場し、週3回の練習を重ねてきた成果を発表しました。ラッパの美しい音色がホール内に響き渡っていました。

12/ 5  
(金) 学びの活かし方  
相良中学校 キャリア教育



全校生徒に講演を行う倉橋里旺さん

相良中学校全校生徒を対象としたキャリア教育講演会が開催され、相良村教育委員会学校教育係の倉橋里旺さんが講師として招かれました。

倉橋さんは飲食業や清掃業などの様々な仕事経験を交えて「挑戦することの大切さや、時間の使い方の大切さを学んで生きるセンスを磨いてほしい」と話し、講演後、生徒は「苦手なことにも挑戦をして、日頃から心がけて行動ていきたい」と謝辞を述べました。

## 廻・上川上・上川下地区にてフレイル予防教室が行われました!

相良村では介護予防センターが中心となり、各地域でフレイル予防教室が行われています。

それぞれの教室で健康運動指導士の井田先生から、フレイルについての講話をして頂きました。フレイルは虚弱のことであり、「筋肉・口・認知機能・気持ち」と様々なフレイルがあること、このフレイル予防教室に参加することは様々なフレイルの予防となっていることを話されました。その後、遊びを交えながらできる頭と体の体操を教わり、皆さん楽しく活動されていました。

\*相良村では、現在 6 地区でフレイル予防教室が開催されています。参加したい方、ご自身の地区でも教室をやってみたい方はぜひ相良村役場保健福祉課(☎ 0966-35-1032)までご連絡ください。



廻地区フレイル予防教室



上川上地区フレイル予防教室



上川下地区フレイル予防教室

## 民生委員・児童委員 12名退任

◆退任 民生委員・児童委員の一斉改選に伴い、12名の方が退任されました。  
(敬称略) 長期にわたり行政と住民のパイプ役として活動いただき、ありがとうございました。

厚生労働大臣感謝状(6年以上)
尾方 美和 (22年4ヶ月)
山下千津代 (6年)
笹渕美紀代 (6年)
木村 繁 (6年)
西 幸人 (6年)
柏原マリコ (6年)
坂田加代子 (6年)



県知事感謝状(3年以上6年未満)
上村佐予子 (3年10ヶ月)
土屋 国治 (3年)
宮原 啓子 (3年)
川邊 正人 (3年)
白石 明徳 (3年)

上段左から  
白石 明徳 上村 佐予子 土屋 国治 川邊 正人 宮原 啓子  
下段左から  
柏原 マリコ 笹渕 美紀代 西 幸人 尾方 美和 木村 繁 坂田 加代子  
山下 千津代

## 中央地区避難地、十島・新村地区避難地の利用について

令和7年7月に完成しました中央地区避難地と十島・新村地区避難地は、災害時に避難できるよう整備しましたが、平常時は地域住民の活動の場としてどなたでもご利用いただけます。借用の手続きは必要ありませんので、幅広い地域活動にぜひご活用ください。

※長時間の使用となる場合は役場総務課までご連絡ください。

### 《禁止行為》

- (1) 公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがある行為
- (2) 集団的に又は常習的に暴力的不法行為を行うおそれがある組織の利益になると認める行為
- (3) 避難地の施設及び付属施設を損傷し、又は汚損する行為
- (4) 物品の販売、募金、チラシ配布その他これに類する行為
- (5) 競技会、展示会、集会その他これに類する催しのために避難地の全部又は一部を独占して使用する行為
- (6) 前各号に定めるもののほか、村長が管理上支障があると認める行為

【問い合わせ】総務課 行政係 ☎ 0966-35-0211

## 令和7年度相良村職員採用試験(追加募集分)について

令和7年度相良村職員採用試験(追加募集分)を実施します。詳細については、下記のとおりです。不明な点がございましたら、相良村ホームページをご覧いただくか、役場総務課までお尋ねください。

○募集職種及び募集人数 保健師(資格免許職) 1名程度  
土木職(社会人経験者) 1名程度

○受付期間 令和7年12月15日(月)～令和8年1月8日(木)  
※土曜、日曜及び祝日を除く。

○試験日 令和8年1月25日(日)

【問い合わせ】総務課 行政係 ☎ 0966-35-0211

## 民生委員・児童委員が改選されました

令和7年12月1日付けで全国一斉に民生委員・児童委員が改選され、本村においても16名(新任12名再任4名)の方へ委嘱状が交付されました。

民生委員・児童委員は、住民の方の身近な相談相手となり、行政へのパイプ役として活動を行っていますのでお気軽にご相談ください。

### ◆民生委員・児童委員(地区担当委員)(敬称略)



上四浦 田山 時徳 中四浦 岩切 一夫 初神 犬童 みづほ 下四浦 西谷 みさこ 上川上・上川下 新堀 由紀美



松馬場 福田 国子 上園・永江 丸山 一男 朝迫 三浦 敏子 中央 乙益 道男 松葉 坂本 里衣



平原・永谷 富永 得治 新村 西 重春 十島 西本 巳喜男 井沢・並木野 野田 晋司

### ◆主任児童委員(村内全域)(敬称略)



中村 英範 高田 チヅ子

### 民生委員・児童委員とは

民生委員・児童委員は、民生委員法や児童福祉法に基づいて、地域住民の方々や地域の児童・妊産婦の方々の生活状態を適切に把握し、相談・助言、福祉サービス利用のサポートなどを行っています。

【問い合わせ】保健福祉課 ☎ 0966-35-1032  
社会福祉協議会 ☎ 0966-35-0093





1年を  
振り返って

## 2025～相良村9大ニュース～



5月号

46年続いた四浦保育所  
あざみ園が閉園

6月号

村議会議員選挙が行われ  
10名の議員が当選

6月号

令和7年4月から  
保育料を無償化

8月号

中央地区及び十島・新村地区の避難地が完成



中央地区避難地



中央地区避難地テープカット



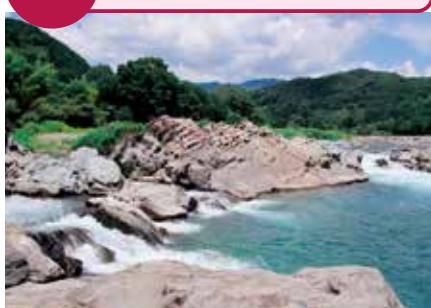
十島・新村地区避難地

8月号

国土交通省川辺川ダム砂防事務所と相良村で覚書を締結



9月号

水質が最も良好な河川に  
「川辺川」が19年連続で選出

9月号

令和2年7月豪雨で  
被災した新村橋が完成

11月号

友田政春さんが高齢者叙勲  
として旭日単光章を受章

12月号

相良北小学校創立150周年

編集・発行／相良村役場企画商工課  
〒868-8501 熊本県球磨郡相良村大字深水2500番地1  
TEL 0966-35-1036 FAX 0966-35-0011E-mail info@sagara.kumamoto.jp  
ホームページ https://www.vill.sagara.lg.jp/  
この広報紙ではユニバーサルデザインフォントを使用しています。ご感想は  
こちらから